

2019年(令和元年)7月6(土)から7日(日)にかけて、
広島大学 教育学部の学生12名と教員および補助学生の3名が水産実験所(竹原ステーション)に来所し、
実習を行いました。



青天の下、施設近くの防波堤からプランクトン採集が行われました。
採集されたプランクトンを実験室に持ち帰り、顕微鏡で観察しました。
瀬戸内海に面した本施設では、このような実習が行えます。



磯採集の風景と種同定作業

磯で採集された生物を実験室に持ち帰り、図鑑を用いて実習班ごとに種同定が行われました。採集された生物の種名は、最終的にリスト化され黒板に書き出されることにより、実習生全員での情報の共有化が行われました。

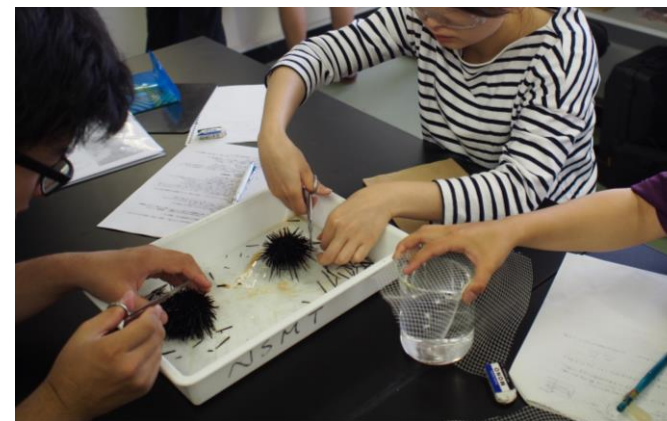
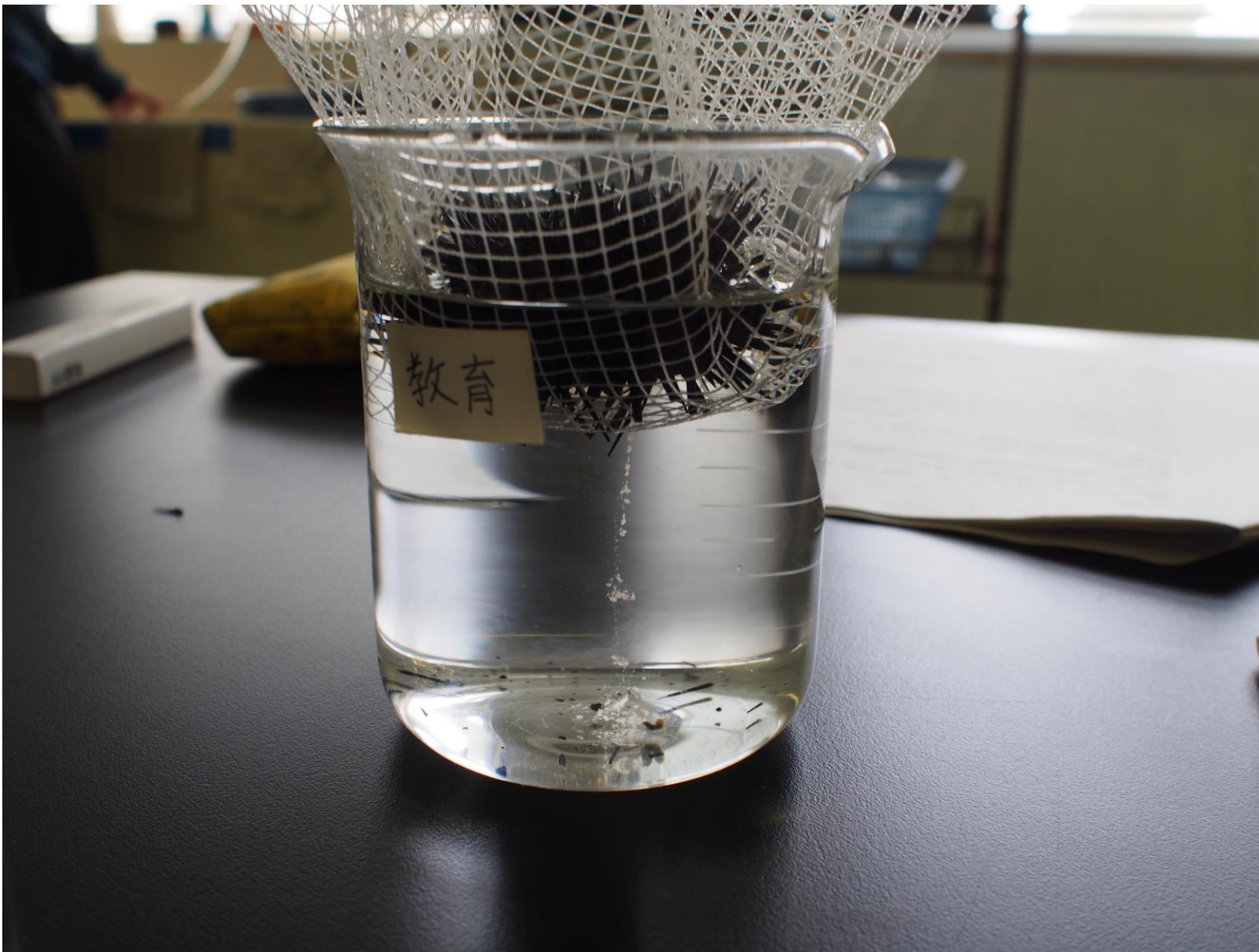


ウミホタルの夜間採集風景と発光実験



* 電気刺激を与えることで発光するウミホタル。

2日目朝より、実習生によるムラサキウニの発生実験が行われました。



長い棘を切除した後、濾過海水入れたビーカーにウニを逆さま（口を上）にセットし、アセチルコリンをインジェクションすると放卵・放精が観察できます。